TAKEDA Smile

Web配信　第１２号
令和５年２月
武田中学校 高等学校
教育後援会・広報委員会

2022.9.3　武田祭！

今年度もコロナ感染拡大防止のため、さまざまな行事が中止や縮小になるなか、模擬店・一般公開は中止となりましたが、武田祭が開催されました。

「生徒たちに何かできる事はないか？」、学校と協議した結果、９月３日(土)の昼休憩時間にアイス・ジュースの販売と体育館でのステージ発表のラストに、プロマジシャンによるマジックショーを行いました。アイス・ジュース販売では生徒たちも心待ちにしてくれていたようで完売！マジックショーではカードマジック、テーブル浮遊マジックに会場は大盛り上がりでした。

閉会式での生徒会会長のあいさつに「学内行事となったため、生徒たちが少しでも楽しめるよう、スタンプラリー、有志によるステージ発表といったイベントを企画・運営した」とありました。３年前までのいつも通りの武田祭が開催できなかったことが子どもたちにとって残念だと思っていましたが、こうした状況のなかでも生徒たちがより楽しく学校生活を送れるように、思い出を残せるように考えていただき、先生方に感謝しかございません。同時に、子どもたちの心やさしい成長も感じることができました。

また、各クラス展示・クラブ展示も短期間で仕上げていったとは思えない作品が多く、この教育後援会新聞で紹介できる機会を頂けることに感謝です！！

広報委員　河上祥子

ステージ発表部門優秀賞

第1位　高校3年1組

SDGs MOMOTARO

第2位　高校2年1組

ユメタンストーリー

第3位　中学3年AB組

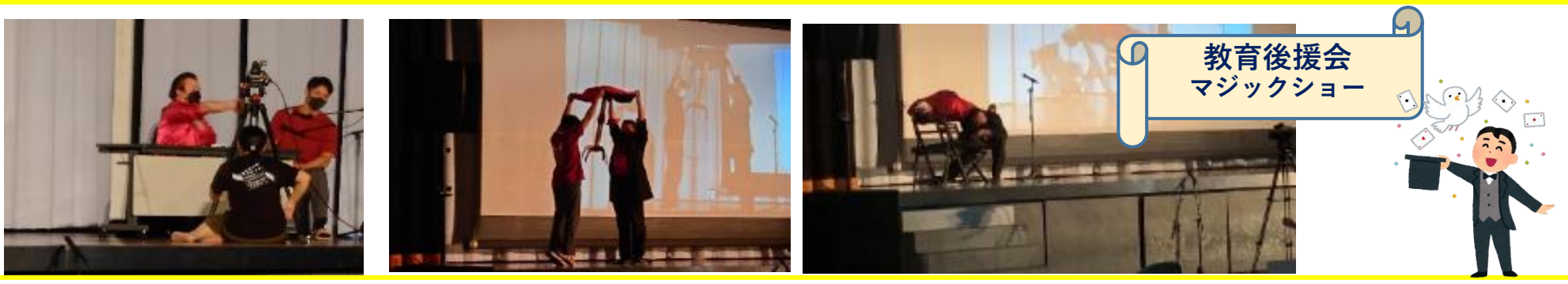
絆　～Remember　Me～

校長賞　高校3年4組

仲良し３－４

クラス・クラブステージ発表

ステージ個人発表



教育後援会
マジックショー

生徒会執行部

みんなTAKEDA SMILE

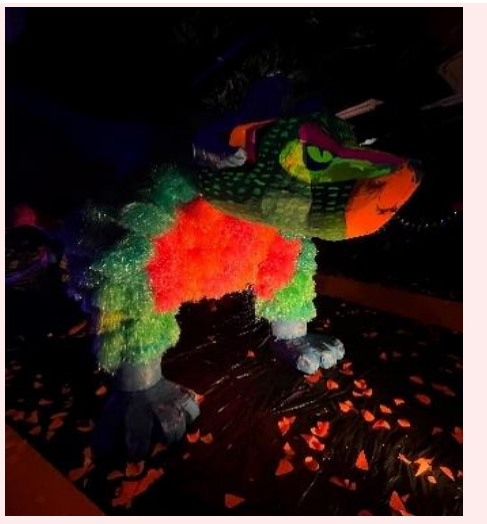
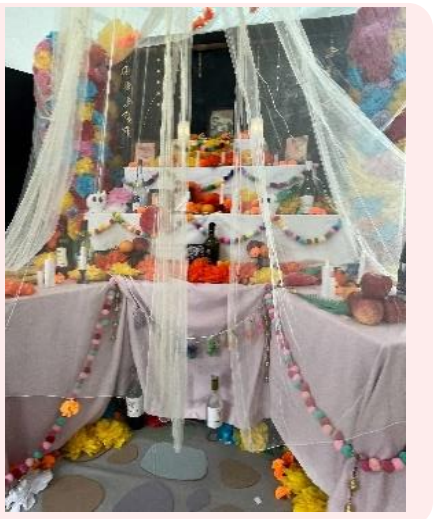
今回、私は初めて最初から最後までステージ発表を取材させていただきました。
１日目は、文科系クラブの発表とクラブ発表でした。クラス発表はどのクラスも、歌って踊って、創作劇では名演技によりみんなを魅了しました。夏休みの短い練習期間であったにもかかわらず、長い台詞やダンス、歌など完成度の高いものでした。また、良い意味で予想を裏切る展開を見せてくれました。
２日目は、個人発表とカラオケ大会でした。バンドに歌に工夫を凝らしたダンスに、そして、のど自慢のカラオケをしっかりと楽しませていただきました。一方ステージ周りでは、出演者がステージで最高のパフォーマンスができるよう、生徒会を中心に進行していました。スケジュールに遅れが出ないよう舞台裏は本当に必死でした。そして、途中の体育館の換気や入口での消毒など成功させたいという思いの強さをひしひしと感じました。
コロナ禍で開催できるか心配な中、開催を決めていただいた先生方には頭が下がるばかりです。子どもたちの発表の場は、まさにこのときしかなく、子どもたちにとり、青春を謳歌できる貴重な機会となったと思います。本当にありがとうございました。

広報委員　花之木 憲一

展示部門優秀賞

第1位　リメンバー　ミー

中３－Ａ・Ｂ

第２位　ユメタンワールド

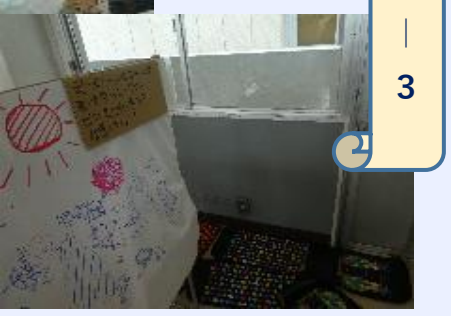
高２－１

第３位　ユニバーサル１Ａジャパン

中１－Ａ

高２－２

高２－３



高３－５

高２－４

高２－５

高１－１

高１－２

高1－3

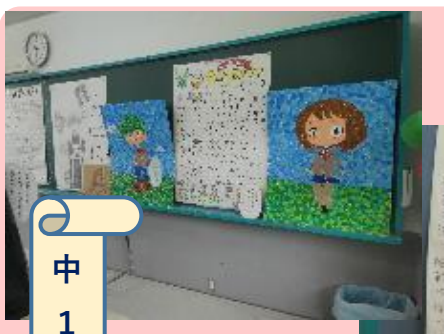
高1－4

高1－5

中2－B

中2－A

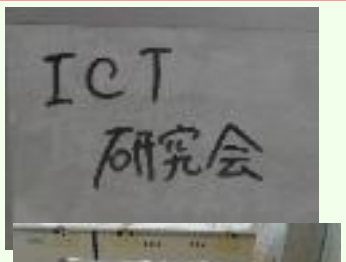
中1－B

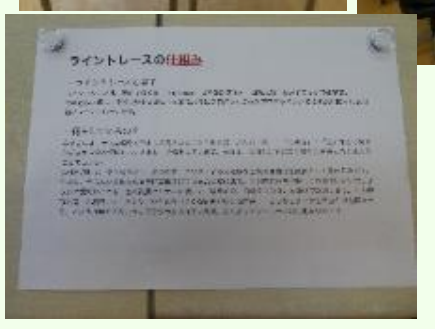


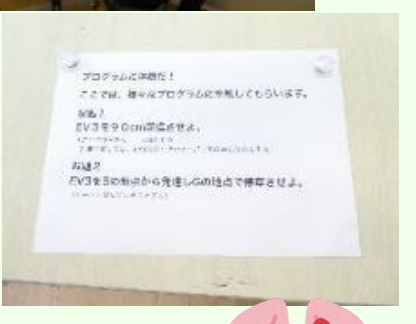
高3－4

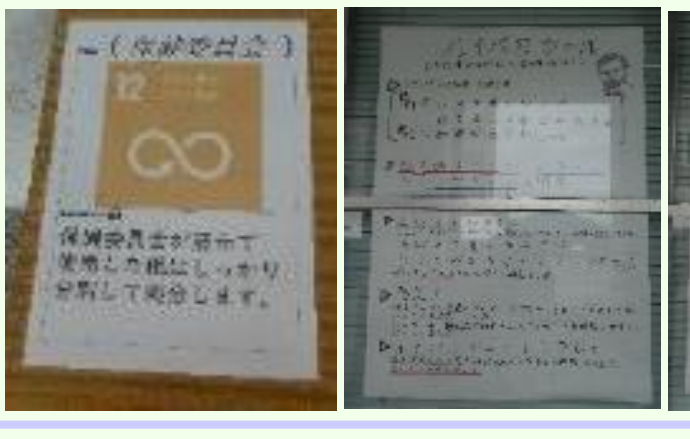
クラブ展示

ICT研究会









クラブ展示

オフショット

教育後援会
アイス・ジュース販売

閉会式

2022.11.8 芸術鑑賞会

『待ちに待った芸術鑑賞会で、ミュージカル好きな自分は心の底から楽しみにしていました。
緞帳が上がり、最初の進藤さんの司会から私の胸の高鳴りは収まりませんでした。秋田の踊りや民謡がすごく耳に残っています。
普段何気なく食べているドーナツにも意味があったり、車椅子バスケットボールにも深い歴史があるのを知り、これからのものの見方が変わってきそうです。たった7人で物語を進めていたことに一番驚きました。何より一人ひとりが輝いていて勇気を与えてくれる舞台でした。特に「女性はこうあるべき」という意識が強い時代に辛いことがありながらも持ち前の元気と明るさで「あくりさん」が女性の自由のために奮闘したことにとても強い感銘をうけました。とても「感動」という一つの言葉では納められないものを感じる舞台でした。』　と高校生の生徒の感想をいただきました。

突然芸術鑑賞会の感想をお願いしたところ、こうした内容で丁寧に答えてくれ、日々、プレゼンテーションなどで発表の場や自分の意見を発言しているのだな、と感じました。

広報委員　岡本 義明

2022.11.5 呉地区高等学校PTA連合会連絡協議会 兼 研修会

会場：広島国際大学
講師 健康科学部 心理学科　田中秀樹教授
『眠り改善からの心と体の元気創り』
と題した講演は、具体的な快眠法、生活リズム健康法、笑いの効用について、クイズを交えながら教えていただ きました。
要点は次の四点です。

① 脳や心身の健康と密接に関係する睡眠問題の予防や対処はとても重要。
② 睡眠改善はうつ予防、肥満や認知症、生活習慣病の予防にとても大切。
③ 笑いにはストレス対処や免疫力向上、痛み軽減など健康に良いことがた くさんある。
④ 生活リズムを整えることで、学力、運動能力向上につながる。（生活リズ ム健康法）

武田でいつも言われている「三点固定」が、まさにこの生活リズム健康法 の基本ですね。
生活リズムの健康法として、1つでも目標を持って取り組んでいきたいことは次の十点です。

1 毎朝、ほぼ決まった時間に起きる
2 朝起きたら、太陽の光をしっかり浴びる
3 朝食を規則正しく毎日とる
4 帰宅後は居眠りをしない（15時以降の居眠りは、夜の睡眠に悪影響を及ぼす）
5 夕食後以降、カフェイン（お茶・コーヒー）はさける
6 夕食後に夜食をとらない
7 ぬるめのお風呂にゆっくりつかる
8 午前0時までに寝床に入る
9 寝る前は、脳と体をリラックス
10 休日の起床時刻を平日と2時間以上ずらさない

睡眠は、脳と心の栄養です。
生活リズムを整えて、より良い睡眠がとれるよう心がけてみてはいかがでしょうか。

講師 健康科学部 医療経営学科　井山慶信 准教授
講習『いざという時の応急手当』
目の前で誰かが助けを求めている時の対応法を、心肺蘇生やAEDの実技を体験しながら教えていただきました。
声をかけ続けることの大切さや、AEDがどこに置いてあるか日頃から意識して確認しておくことの大切さを知りました。

研修会に参加させていただいて、非常に有意義で貴重な1日を過ごす事が出来ました。

教育後援会副会長　岡本 妙子

編集後記

新型コロナの流行から、３年が過ぎました。
今春から、新型コロナウイルスが５類感染症に分類されるとの報道を聞き、活動しやすくなるのでは？と少し期待をしております。充実した学生生活を送ることができる年となりますように。
本年も、どうぞ宜しくお願い致します。

広報委員長　花之木 貴子